

ゆめ さくら

夢咲楽

わ わ わ つう しん

～和輪話通信～



**スポーツ
チャンバラ体験を
実施しました!**



5月25日(土)小学1～3年生
約40名がスポーツチャンバラ
を体験しました。

大人も子どもも真剣勝負!
元気いっぱい楽しい時間を過
ごしました。



**青少年センター
全体活動を
実施しました!**

農業体験 ～米づくりコース～



5月11日(土)市内の小学4～6年生
約30名が田植え体験を行いました。
9月には稲刈りを実施します。



『あいさつ』でつながる地域を目指して

さくら市青少年センターでは、各学校での「あいさつ巡回活動」を行い、子どもたちと地域の大人がいつでも、どこでもあいさつを交わせる地域づくりをすすめています。

安心・安全な地域

あいさつには犯罪防止の効果があるといわれています。

あいさつをするということは、相手の存在を認識しているということです。後ろめたい気持ちがある人の多くは顔を見られるのを嫌うため、あいさつによって地域の防犯効果を高めることができます。

また、あいさつを交わすと地域に顔見知りや知人が増えます。そうすると、日頃、地域で見慣れない人や不審な人に気づきやすくなり、地域の違和感に気づく人が増えることで安心な地域に近づくといわれています。



あいさつで地域の子どもを育てる

子どもたちにとって、地域で多くの人に見守られていることはとても大切です。

特に登下校中に地域のみなさんからのあいさつがあると、子どもたちは安全に過ごせるだけでなく、社会のルールを勉強したり、いろいろな世代の人と話す練習ができたりします。

あいさつがしっかりできるということは、大人になってもとても大切なことです。

ぜひ、「おはよう」「こんにちは」「おかえり」などのあいさつで、子どもたちの健やかな成長に力を貸してください。



あいさつができなくても…

忙しい時や体調が悪い時など、誰にでもあいさつができない時はあると思います。

子どもたちも、何かに集中していたり、ちょっと緊張してしまったり、知らない人と話すことが苦手だったりして、あいさつができないこともあります。

もし返事をしてもらえなくても、「あの子はまだあいさつが苦手なのかな」という気持ちで、どうか子どもたちの成長を長い目で見てあげてください。



本年度は「あいさつ活動」缶バッジをつけて活動しています



さくら市の
子どもを
みんなで育てよう

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

ゆめさくら わわわつうしん
夢咲楽〜和輪話通信〜 第54号
発行日 令和6年6月16日

発行 さくら市青少年センター(事務局 生涯学習課)
〒329-1492 栃木県さくら市喜連川4420-1
電話 028-686-6621 FAX 028-686-5368
電子メール syogaigakusyu@city.tochigi-sakura.lg.jp
市ホームページ <http://www.city.tochigi-sakura.lg.jp>